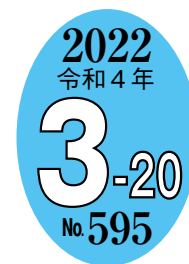




地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向



「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけます。

月例調査レポート



小布施町 千曲川堤防から
北帰行^{ほっきこう}とおいこつと号

五線譜の音符のように列をなし、飯山線を走る列車の後を追う白鳥の群れ。目指すは4,000km離れたロシア、シベリアの繁殖地です。コハクチョウは家族の絆が強い鳥として知られ、飛行の際は親鳥が幼鳥を間に挟んで飛び渡りを助けます。千曲川の上空を北へ帰る鳥たちに、平和の祈りを託すとともに、無事に故郷の地へたどり着くことを願います。

- 長野しんきん 月例調査レポート…………… 2
- 企業アンケート 2022年の経営見通し ③ …… 6
- インタビュー 変革期の経営ビジョン…………… 8
- 北信濃 江戸時代の風景 (91) 篠ノ井の山ざわ …… 10

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラー
にてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)



長野信用金庫

概況 全産業

生産は3カ月ぶりの低下

前年同月比は11カ月連続の上昇

◇2021年12月の長野県鉱工業指数

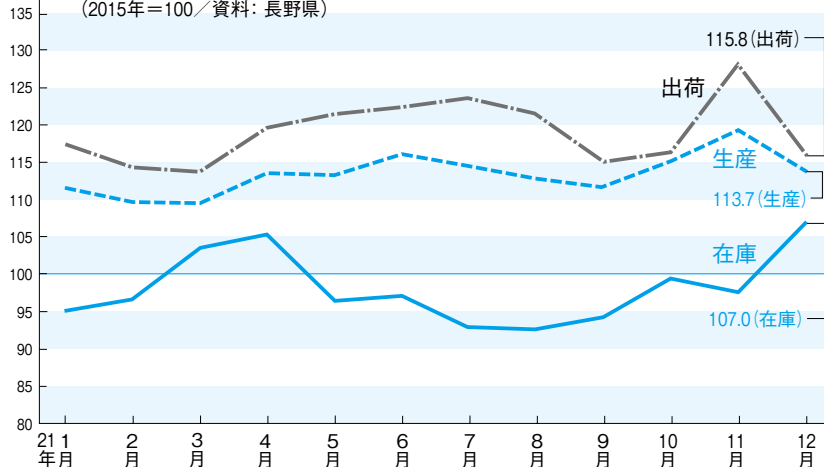
(速報：季節調整済指数)

生産は113.7(前月比▲4.7%)で3カ月ぶりの低下、出荷は115.8(同▲9.6%)で3カ月ぶりの低下、在庫は107.0(同+9.7%)で2カ月ぶりの上昇となりました。

◇前年同月比(原指数)

生産は119.3(前年同月比+8.7%)で11カ月連続の上昇、出荷は123.1(同+3.6%)で15カ月連続の上昇、在庫は109.0(同+13.0%)で3カ月連続の上昇となりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数(季節調整済)の推移
(2015年=100/資料：長野県)



[生産] 上昇…電子部品・デバイス、情報通信機械、輸送機械など7業種

低下…はん用・生産用・業務用機械、電気機械、化学など10業種

[出荷] 上昇…電子部品・デバイス、情報通信機械、紙・紙加工品など4業種

低下…はん用・生産用・業務用機械、電気機械、食料品など13業種

[在庫] 上昇…はん用・生産用・業務用機械、電子部品・デバイス、情報通信機械など10業種

低下…プラスチック製品、紙・紙加工品、窯業・土石製品など6業種

月例調査

全産業の「売上高」は横ばい

前回調査 2021年12月

◇2月調査による[北信地区の経済状況]

全産業(不動産業・旅館業を除く)の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(38

%)が2ポイント増加、「減少」割合(32%)が2ポイント減少、「不変」割合(30%)は横ばい、全体としては横ばいの状況です。

●売上高(生産高・施工高)前年比「増加・不変・減少」割合

矢印は前回調査比 (3ポイント以上の動き) ↗ 増加 → 不変 ↘ 減少
🔄 改善 ⇄ 不変 📉 悪化

全産業
不動産業・
旅館業を除く

前回

今回

36.6 →

29.4 ↘

34.0 ↗

増加 →

不変 →

減少 →

38.1

29.7

32.2

製造業

52.2 ↗

19.4 →

28.4 ↘

建設業

32.3 ↗

35.4 →

32.3 →

卸小売業

18.2 ↘

43.2 ↗

38.6 →

サービス業

37.5 ↘

37.5 →

25.0 ↗

輸送業

60.0 ↗

20.0 ↘

20.0 →

外食業

50.0 ↗

0.0 ↘

50.0 →

192社(回収率82.4%)

30人未満 72.9%

30人以上 27.1%

202社(回収率87.8%)

30人未満 73.8%

30人以上 26.2%

67社(回収率82.7%)

30人未満 62.7%

30人以上 37.3%

65社(回収率91.5%)

30人未満 89.2%

30人以上 10.8%

44社(回収率89.8%)

30人未満 79.5%

30人以上 20.5%

8社(回収率88.9%)

30人未満 87.5%

30人以上 12.5%

10社(回収率100.0%)

30人未満 20.0%

30人以上 80.0%

8社(回収率80.0%)

30人未満 62.5%

30人以上 37.5%

製造業

食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

「生産高」食料品・電気機械・精密機械が減少するも、全体は増加

製造業の生産高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(52%)が5%増加、「減少」割合(28%)が6%減少、「不変」割合(19%)が横ばいで、全体としては増加の状況です。

●生産高前年比「増加・減少」割合(%)

製造業	前回	46.8	19.3	33.9
	今回	増加 52.2	不変 19.4	減少 28.4
食料品		40.0	26.7	33.3
金属加工		45.5	18.1	36.4
一般機械		70.0	10.0	20.0
電気機械		20.0	20.0	60.0
自動車部品		50.0	0.0	50.0
精密機械		66.7	16.6	16.7

[業種別] 増加…金属加工・一般機械・自動車部品
減少…食料品・電気機械・精密機械

[機械稼働] (前回比) 稼働率 下降

上昇割合 (27%) → 11%

下降割合 (15%) → 24%

[受注状況] 受注量 (前回比) 下降

増加割合 (23%) → 15%

減少割合 (16%) → 25%

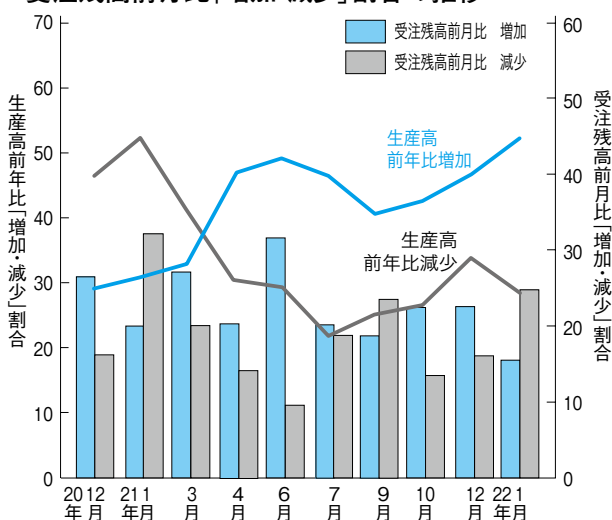
受注残高 (1.4ヵ月) → 1.5ヵ月

[受注基調] (前回比) 下降

上昇割合 (26%) → 14%

下降割合 (13%) → 27%

●生産高前年比「増加・減少」割合と受注残高前月比「増加・減少」割合の推移(％/資料:当金庫)



企業からのコメント

☆★パソコン関連は好調に推移しているが、人員不足のため残業が増加している。(パソコン・制御盤)

★コロナ禍の影響で、新製品用の電子部品の入荷遅れが発生している。そのため、売上計画の変更を余儀なくされている。(ICリーダー/ライター)

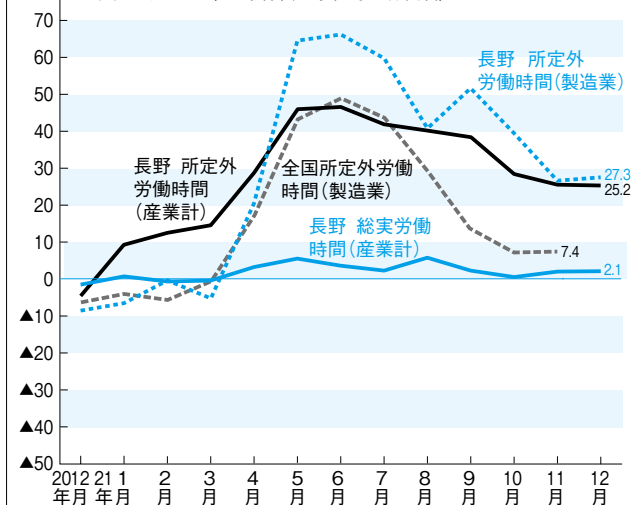
★コロナ禍で業界内の情報は不足しているが、弱小メーカーは、飲食店や宿泊関係の売上が不調のため厳しい。当社も飲食店の加工味噌のOEMが減少している。(味噌)

☆★ダンボール用の原紙は2月に値上げの実施がされ、引き続き段ボール製品も値上げの見通し。印版も3～4月に10～15%の値上げを予定している。(印版)

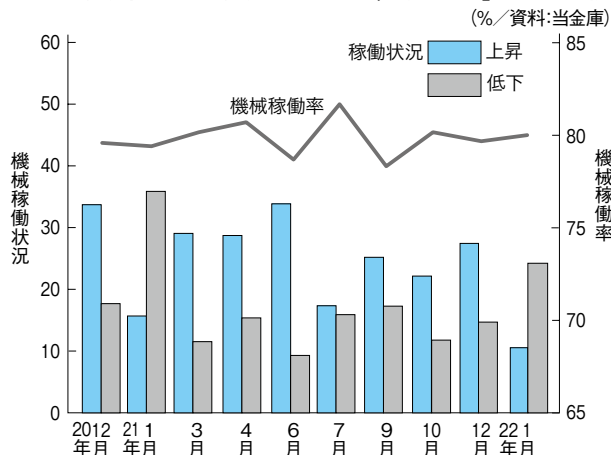
★原材料や鉄鋼などの仕入品の高騰が続いているが、受注も含めて先の見通しは不透明な状況。(通信機器)

●長野県の労働時間の動き(前年同月比)

規模30人以上(％/資料:長野県・厚生労働省)



●機械稼働率と機械稼働状況前月比「上昇・低下」割合の推移(％/資料:当金庫)



建設業

総合建設、土木工事、建築、各種設備

「施工高」建築・各種設備が減少するも、全体は増加

概 況

建設業の施工高前年比「増加・減少」割合は、前年に比べ「増加」割合(32%)が4割増加、「減少」割合(32%)が2割減少、「不変」割合(35%)が2割減少、全体としては増加の状況です。

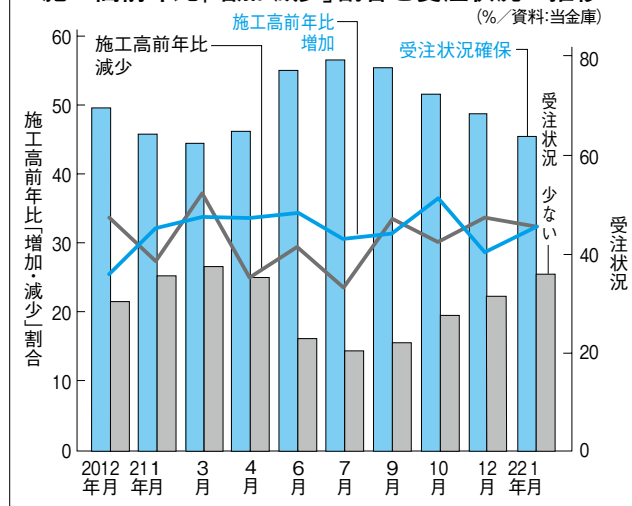
●施工高前年比「増加・減少」割合(%)

建設業	前回	28.8	37.3	33.9
	今回	増加 32.3	不変 35.4	減少 32.3
総合建設業		45.5	36.3	18.2
土木工事業		58.3	25.0	16.7
建築業		17.4	43.5	39.1
各種設備業		30.0	50.0	20.0

【業種別】 増加…総合建設・土木工事
減少…建築・各種設備

【受注状況】 受注残高(前回比) 減少
「多い・適正」割合 (68%) → 64%
「少ない」割合 (32%) → 36%

●施工高前年比「増加・減少」割合と受注状況の推移



企業からのコメント

☆厳しい寒さのためか、断熱化工事の相談が増加。また、コロナの影響による“リモートスペース”を考慮したリフォームの依頼も増えている。(総合建設)
 ☆★除雪作業の売上は前年比200%の大幅増となるが、降雪の影響で土木工事は減少している。(土木工事)
 ★資材の値上げ幅は15～35%のうえ、年2・3回のペースに増え、受注にかなり影響が出ている。(一般建築)

4～1月の公共工事 (東日本建設業保証取扱分)

長野県の4～1月の発注合計は、2,065.7億円(前年同期比▲11.2%)となりました。前年比プラスは「国」の449.0億円(同+146%)、マイナスは「県」の606.7億円(同▲20.1%)、「市町村」の564.9億円(同▲17.9%)、「その他」の439.6億円(同▲7.8%)でした。

北信地区市町村の発注合計は137.7億円(同▲26.4%)で、うち長野市は63.3億円(同▲37.8%)でした。

●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況(2022年1月/2021年4月～2022年1月累計)

(単位=百万円/資料:東日本建設業保証株)

		2022年1月	前年同月比	2021年4月～2022年1月	前年同期比
長野県	国	331	▲9.7%	44,900	+14.6%
	県	4,103	▲4.1%	60,667	▲20.1%
	市町村	3,214	▲6.2%	56,488	▲17.9%
	その他	1,405	+24.5%	43,961	▲7.8%
	合計	9,053	▲1.6%	206,568	▲11.2%
北信地区	市町村	851	+9.8%	13,766	▲26.4%
	(内長野市)	770	+16.1%	6,331	▲37.8%

4～1月の新設住宅着工戸数

長野県の4～1月の新設住宅着工戸数は10,243戸(前年同月比▲1.5%)でした。持家が6,235戸(同+9.8%)、貸家が2,501戸(同▲11.5%)、分譲が1,440戸(同▲11.7%)、給与が67戸(同▲74.4%)です。

北信地区の4～1月の新設住宅着工戸数は2,923戸(同+7.3%)でした。持家が1,750戸(同+13.9%)、貸家が710戸(同+0.9%)、分譲が442戸(同▲6.0%)、給与が21戸(同+75.0%)です。

●北信地区と長野県の新設住宅着工戸数

(2022年1月/2021年4月～2022年1月累計)

(資料:長野県)

		持家	貸家	分譲	給与	合計
北信地区	1月	144戸	45戸	44戸	0戸	233戸
	(内長野市)	103戸	45戸	29戸	0戸	177戸
	前年同月比	+8.5%	▲51.6%	+12.8%	——	▲4.0%
	(内長野市)	▲8.8%	▲43.0%	±0%	——	▲19.9%
	4～1月	1,750戸	710戸	442戸	21戸	2,923戸
長野県	前年同期比	+13.9%	+0.9%	▲6.0%	+75.0%	+7.3%
	1月	487戸	270戸	132戸	20戸	909戸
	前年同月比	+3.6%	▲15.4%	▲26.7%	+900.0%	▲6.4%
	4～1月	6,235戸	2,501戸	1,440戸	67戸	10,243戸
	前年同期比	+9.8%	▲11.5%	▲11.7%	▲74.4%	▲1.5%

卸小売業

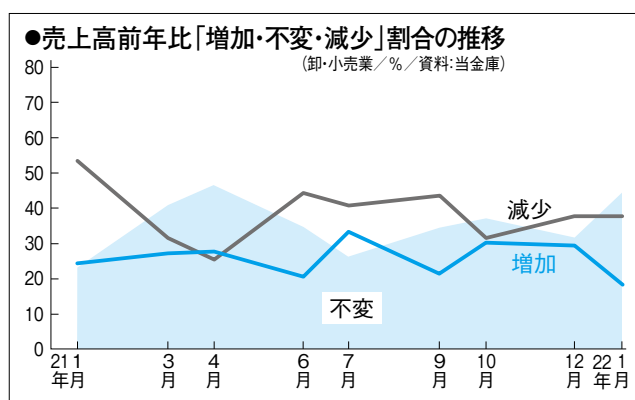
卸売業、小売業

「売上高」小売は増加、卸売が減少

卸小売業の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(18%)が11ポイント減少し、「減少」割合(39%)が横ばい、「不変」割合(43%)が11ポイント増加し、全体として売上は減少の状況です。

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

卸小売業	前回	29.5	31.9	38.6
	今回	増加 18.2	不変 43.2	減少 38.6
卸 売 業		12.5	43.7	43.8
小 売 業		21.4	42.9	35.7



【業 種 別】 増加…小売業 減少…卸売業

1月の消費者物価指数(長野市) 2020年基準=100

◇総合指数(確報値)……100.7(5カ月連続プラス)

(前月比+0.1%、前年同月比+1.0%)

上昇…「光熱・水道」「交通・通信」「保健医療」「食料」「住居」「諸雑費」

下落…「被服及び履物」「家具・家事用品」「教養娯楽」

◇生鮮食品を除く総合指数…100.5(6カ月連続プラス)

(前月比+0.1%、前年同月比+0.8%)

企業からのコメント

- ★オミクロン株による状況悪化で、お客様の来店が少ない。かといって、積極的な訪問もしづらい。(家電)
- ★「まん延防止等重点措置」が施行され、中心市街地の通行人は極端に減少している。(衣料品)
- ☆★部品不足のため新車の納期が遅延気味となり、中古車を求めるお客様が増加している。結果として中古車の相場が上がっている。(自動車販売・修理)
- ★降雪の影響で商品の動きが鈍い。春先のオミクロン株の影響についても心配している。(花鉢)
- ☆★食堂部門は比較的に利用されているが、みやげ品の購入意欲は弱い。(土産品)

サービス業

サービス、輸送、外食、観光、不動産

「売上高」輸送・外食は増加、サービスは減少

サービス業 売上高前年比「増加」割合は13ポイント減少の38%、「減少」割合は13ポイント増加の25%、「不変」割合は横ばいの38%と、売上は減少の状況です。

輸送業 売上高前年比「増加」割合は20ポイント増加の60%、「減少」割合は横ばいの20%、「不変」割合は20ポイント減少の20%と、売上は増加の状況。タクシーが横ばい、運輸は増加です。

外食業 売上高前年比「増加」割合は13ポイント増加の50%、「減少」割合は横ばいの50%、「不変」割合は13ポイント減少の0%と、売上は増加の状況です。

観光(旅館)業 入込数は平均で前月比9ポイントの減少、前年同月比は50ポイントの増加で、宿泊利用は伸びています。

不動産業 需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」が9ポイント増加の22%、「引合いやや増加」が2ポイント減少の11%でした。

企業からのコメント

- ★2024年適用のドライバーの残業時間上限960時間に向けて、大手は対応できても、その分しわ寄せは下請けにかかり、残業時間の対応が危惧される。(トラック輸送)
- ★「まん延防止等重点措置」の適用で急に来店客は減少。さらに、今年は降雪や寒さの影響もあって、常連客の来店も減少気味。(ソバ店)
- ★長野駅東口の土地区画整理地内は人気があるが、売り物件が少ない状態が続いている。(不動産)

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

サービス業	前回	50.0	37.5	12.5
	今回	増加 37.5	不変 37.5	減少 25.0
輸送業	前回	40.0	40.0	20.0
	今回	60.0	20.0	20.0
うちタクシー業		100.0	8.8	
うち運送業		42.9	28.5	28.6
外食業	前回	37.5	12.5	50.0
	今回	50.0	0.0	50.0

業界の市場の将来性 「拡大する」4% 「縮小する」29%

重点的な経営課題 「人材の確保・育成」「事業の販路・市場拡大」
「経費削減による収益力強化」

アンケート
2022年の経営見通し ③
2021年12月調査

業界の市場の将来性 「拡大する」が4%、「縮小する」が29%、「横ばい」が55%となり、昨年に比べ「拡大する」は▲1%、「縮小する」は▲5%となっています

重点的な経営課題 昨年に比べ「人材の確保・育成」(51%)は+6%、「事業の販路・市場拡大」(30%)は▲7%ですが、3位に「経費削減による収益力強化」(27%)、4位に「新しい収益源の確立」(25%)と「製品・サービスの高付加価値化」(25%)が加わり、昨年3位の「新型コロナウイルス対策」(8%)は10位となりました。6位に「設備投資(老朽設備の更新)」(18%)、7位に「資金調達・資金繰り改善」(14%)、8位の「新しい事業分野への参入」(12%)までが2ケタとなっています。

業界の市場の将来性

「横ばい」30人以上59%

「業界の市場の将来性をどのように認識しているか」を聞きました。

55%の企業は「市場規模は横ばいで進む」と答えています。29%の企業が「縮小する」と答え、「拡大する」は4%に過ぎません。これは昨年に比べると、「拡大する」が▲1%、「横ばい」が+12%、「縮小する」が▲5%となりました。

従業員規模で見ると、30人未満は30人以上より「拡大する」が4%低く3%、「横ばい」が5%低く54%、「縮小する」が3%高く30%です。30人以上は30人未満より「拡大する」が4%高く7%、「横ばい」が5%高く59%、「縮小する」が3%低く27%となっています。

業種別

全業種が「悪化」

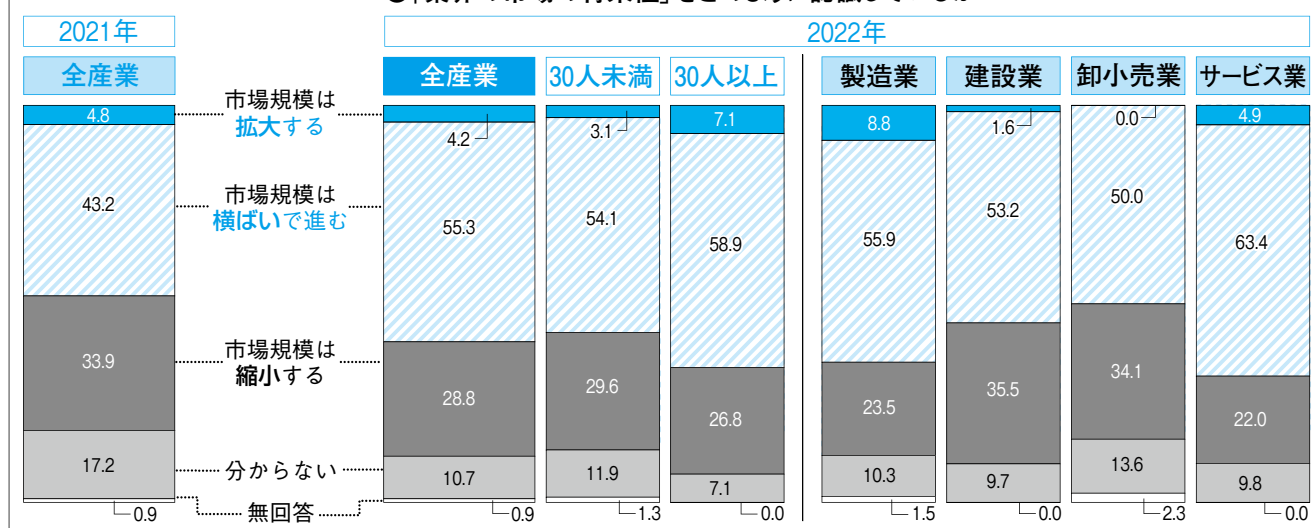
◇4業種(前年比・全産業比)

製造業 前年比「拡大」は▲1%の9%、「横ばい」は+5%の56%、「縮小」は+3%の24%となりやや改善しました。「拡大」は他業種に比べ最も高く、「縮小」はサービス業に次いで低くなっています。

建設業 前年比「拡大」は+2%の2%、「横ばい」は+4%の53%、「縮小」は▲1%の36%となり、やや改善しました。「拡大」は卸小売業に次いで低く、「縮小」は他業種に比べ最も高くなっています。

卸小売業 前年比「拡大」は▲7%の0%、「横ばい」は+16%の50%、「縮小」は▲14%の34%となり、やや改善しました。「拡大」は他業種に比べ最も低く、「縮小」は建設業に次いで高くなっています。

●「業界の市場の将来性」をどのように認識しているか(%)



ます。

サービス業 前年比「拡大」は+3割の5%、「横ばい」は+32割の63%、「縮小」は▲16割の22%となり、大きく改善しました。「横ばい」は他業種に比べ最も高く、「縮小」は他業種に比べ最も低くなっています。

重点的な経営課題

「人材の確保・育成」51%

「既存事業の販路・市場拡大」30%

「経費削減による収益力強化」27%

「製品・サービスの高付加価値化」25%

「新型コロナウイルス対策」8%

「今後、重点的に取り組みたい経営課題は何か」を聞きました。

昨年に比べ、「新型コロナウイルス対策」(8%)が3位から10位に後退するなど、順位がかなり変動しています。上位の「人材の確保・育成」(51%)が+6割、「事業の販路・市場拡大」(30%)が▲7割、「経費削減による収益力強化」(27%)が+4割、「製品・サービスの高付加価値化」(25%)が▲1割、「新しい収益源の確立」(25%)が+4割となっています。

従業員規模で見ると、30人以上で「人材の確保・育成」(64%)が18割、「製品・サービスの高付加価値化」(34%)が13割、「設備投資(老朽設備の更新)」(25%)が9割、30人未満より上回っています。30人未満が30人以上より4割以上上回っている項目はありません。

業種別

「人材の確保・育成」建設74% / 卸小売27%

「新型コロナウイルス対策」サービス17% / 卸小売5%

「事業の販路・市場拡大」卸小売39% / サービス20%

「製品・サービスの高付加価値化」製造38% / 建設13%

「新しい収益源の確立」サービス27% / 建設21%

「経費削減による収益力強化」製造29% / 建設24%

「設備投資(老朽設備の更新)」製造29% / 卸小売9%

◇4業種(前年比・全産業比)

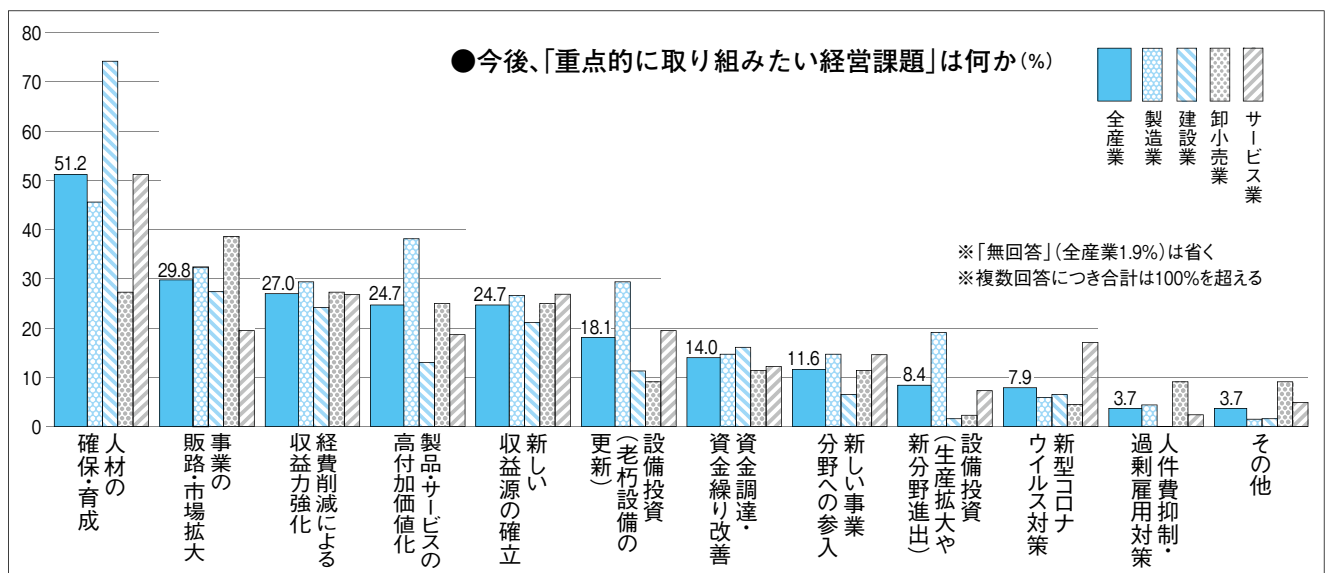
製造業 「新事業分野へ参入」「新収益源の確立」「製品・サービスの高付加価値化」「経費削減による収益力強化」「老朽設備の更新」「生産拡大や新分野進出」は他業種に比べ最も高くなっています。

建設業 「人材の確保・育成」と「資金調達・資金繰り改善」は他業種に比べ最も高くなっています。他方「新事業分野へ参入」「新収益源の確立」「経費削減による収益力強化」「生産拡大や新分野進出」「人件費抑制・過剰雇用対策」は他業種に比べ最も低くなっています。

卸小売業 「事業の販路・市場拡大」「人件費抑制・過剰雇用対策」は他業種に比べ最も高くなっています。他方「新型コロナウイルス対策」「人材の確保・育成」「老朽設備の更新」「資金調達・資金繰り改善」は他業種に比べ最も低くなっています。

サービス業 「新事業分野へ参入」「新しい収益源の確立」「新型コロナウイルス対策」は他業種に比べ最も高くなっています。他方「事業の販路・市場拡大」は他業種に比べ最も低くなっています。

◇次号は「コロナ禍における企業経営」に関するアンケートを予定





これまで培ってきた技術を糧に
新たな次代へと挑み続けます

株式会社 竹内製作所
代表取締役 竹内優さま

●創業の経緯をお聞かせください…

昭和26年、私の祖父竹内有が、義弟と長野市三輪にあった自宅の一部を工場にして、ターレット旋盤で水道管継手の加工を始めたのが最初です。

昭和35年には法人化し有限会社竹内製作所を設立。昭和57年には社屋を現在地の長野市大町に新築移転しました。平成8年現会長である父、竹内章久が代表取締役に就任。平成24年には株式会社竹内製作所へと組織変更しました。令和元年には私、竹内優が代表取締役に就任し現在に至っています。

●社長になられた経緯をお聞きします…

大学生時代に、将来的には家業を継ぐという漠然とした気持ちはありましたが、自信もなく気概も持てずにいました。あるとき、叔父に、「弟がやってきたことの花が咲くのは次の代、優が継いだときだ」という話を聞かされ事業を引き継ぐ決心をしました。大学卒業後に上田市にある半導体と航空機のエンジン部品を作る企業で技術を習得、平成18年に竹内製作所に入社しました。

入社後、福岡県のある酒造会社社長の「この商いは先祖より受け継ぎし商いにあらず、子孫より預りしものなり」の言葉に深く感銘を受けました。企業に携わる社員とお客様とがつながりを持ち、これを守り維持して、次の世代につなげることが使命ではないか、という思いで業務に励み、入社8年目に32歳で社長に就任し2年半が経ちました。

製造業の世界で32歳という年齢は若い社長で

すが、現会長も意気軒昂^{い き けんこう}で元気ですから、次の世代を育てる意味合いで私にバトンを渡してくれたものと考えています。

●事業の概要についてお聞きします…

業務は「オート関連機器・油圧機器・医療機器」の3分野です。マシニングセンターやNC旋盤を用いて、金属や非鉄金属の切削・研削・旋削をして成型します。

分野ごとに特色があり、「オート関連機器」は、灯油専門のタンクローリーに搭載されるポンプやノズル部分を組立から検査までを行います。灯油の漏れが火災の原因になるため、多岐にわたる加工と検査のノウハウが必要になります。

複雑な形状の金属を加工する治具^{しづぐ}の設計と製作、特殊な刃物の考案から一貫して作りあげる工程能力がつき、異形物を治具で固定するには特別な技術が必要となります。

「油圧機器」は、穴と穴が同軸上にはしること、シール部や摺動部の面粗度^{しょうどうぶめんそど}が重要です。油圧で高圧になるため、少しの漏れも大事故につながります。漏れをなくす技術、面粗度の向上や異形材があるので、オート関連で培った特殊な技術が応用されています。

リーマンショック後に、現会長が医療の分野を取込もうと始めた「医療機器」は、アルミ素材が多い分野です。加工業界で非鉄金属は“光り物”と言われ、光沢があって軟らかいため、傷が目立つので取扱いがシビアです。加工による温度の変化でも変形するため、温度制御の研究をして、平成26年度に、マシニングセンターの導入にあたって「温度と工程割の技術力の向上と生産性の向上」を掲げ、長野県の「ものづくり補助事業」で採択されました。

当社の製品は、質感と精度の両立に着手して、各事業分野ごとに様々な技術を集約してきました。最近では「磨きと削る」という感性を大切にしています。大切なものは両手で扱うと思いますが、当社の製品を納品した際に“両手でお渡

しして、両手で受け取っていただける” そんな製品づくりを目指しています。当社の製品を大切に扱っていただけるのは「それだけの価値があって、美しく見える」そういうことを社内に落とし込めば、社員も仕事に誇りが持てると思っています。

経営理念の一節に“誇りの持てる会社とすること”があるので、そこに結び付けていきたいと思っています。

●コロナ禍の影響について伺います…

コロナよりも、2019年10月の台風19号による千曲川の堤防決壊による水害のダメージが大きかったです。ただし、長野市大町に移転する際、創業者の祖父が千曲川の側は、「いつかは水害があるのでその対策を」と言われ、土地を高くしました。そのおかげで、ほかでは約1mの水没でしたが、当社は約60cmで済み、キュービクル



金属や非鉄金属の切削



商品の検査作業

式高圧受電設備は一部水没しましたが、主要部品が壊れず、送電開始と同時に電気が使え復旧が早まりました。

コロナの影響は、油圧関係で東南アジアのロックダウンによって、一時的に生産が止まりましたが、現在は改善されています。

●今後の夢や展望をお聞きます…

二つあります。まず、人と人とのつながりです。私は“会社とは人であり、人とは心である”と捉えています。社員の平均年齢が比較的若く、経験は少ないですが、一人ひとりが自分の仕事をしながら、同僚のことを支え合い、会社を良くするために働いてくれています。その努力に応えるべく労務に関して一生懸命考察し、「竹内製作所で働けて良かった」と思ってもらえる環境を作っていきます。

もう一つは、“ものづくり離れ”の時代に、「ものづくりの楽しさと必要性」などを次世代の子どもたちに教え、製造業を目指す子どもたちを増やすことが重要と考えています。将来、多くの技術者が育ってくれることを願い、私自身も勉強をして、全社員と価値観を共有し、働ける環境を整えたいと考えています。

●事業の概要

設 立 1951(昭和26)年
資本金 300万円
代表者 竹内優
従業員 10名(男7名・女3名)
業 務 製造業
事業所 長野市大字大町765番地
U R L <https://www.takeuchi-ss.co.jp/>

●沿革

1951(昭和26)年	創業者の竹内有が個人創業
1960(昭和35)年	(有)竹内製作所 設立
1982(昭和57)年	現在地へ移転
1996(平成8)年	竹内章久が代表取締役就任
2009(平成21)年	ISO9001取得
2012(平成24)年	株式会社へ組織変更
2019(令和1)年	取締役の竹内優が代表取締役就任
2021(令和3)年	SDGs NAGANO推進企業登録

北信濃 江戸時代の風景

(91) 篠ノ井の山ぎわ

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



今年度は、江戸時代に善光寺門前で売られていた観光案内図「信州川中嶋古跡順道手引草之図」を、少しずつ切り取って紹介します。今回は現在の長野市篠ノ井の山ぎわを中心とする地域です。右が北、左が南になっています。右上から左下に向かって、犀川が流れています。

小松原

右上の「小松原」は、現在の長野市篠ノ井小松原です。背後は山地ですが、犀川にも面していて、江戸時代には山沿いに篠ノ井追分(塩崎上篠ノ井)に通じる道が通り、犀川に小市の渡しがありました。

古代にはこの道が、信濃の国府と越後の国府(上越)とを結ぶ重要な道だったとも言われています。室町時代に幸若舞という芸能がありましたが、その「烏帽子折」という曲の詞章には、盗賊熊坂長範

(信濃町熊坂)の手下が、善光寺南大門の右馬允、後町の与次、犀口の七郎の順に紹介されています。犀口は小松原の犀川沿いにある地名です。善光寺南大門(現在の大門町)、後町、犀口(小松原)は、中世の街道のルートだったとも考えられます。

現在の小松原には、犀川の小市橋と両郡橋、国道19号の小松原トンネルがあって、交通の要地であるのは、今に始まったことではないのです。

天照寺

「小松原」の文字の右に描かれている「天正院」は、天照寺の誤りでしょう。小松原にある曹洞宗の寺院で、新幹線や長野南バイパスを眼下に見下ろす高台にあります。

元は真言宗で、善光寺の西方の往生地にあったということです。永禄11年(1568)に曹洞宗の寺となって小松原と今里の境に移り、天正年間(1573



「信州川中嶋古跡順道手引草之図」の一部(国立国会図書館蔵「扶桑探勝図」より)

～92)に現在地に移転したといわれています。集落からやや離れているので、弘化4年(1847)の善光寺地震や、大正15年(1926)の小松原大火では、住民の避難所となりました。

段ノ原

「ダンノ原」(段ノ原)は小松原の地名です。西が高い段丘状の地形から起こった地名でしょう。

光林寺

その段ノ原にあるのが「光林寺」です。浄土宗の寺で、春は桜の名所として知られています。鎌倉時代末に現在地の少し北の三ツ塚とい

う所に創建されたといい、現在地に移ったのは戦国時代の天文16年(1547)だとされています。

光林寺は古い建物が多く、経蔵・鐘楼・山門が国の登録有形文化財となっています。経蔵は慶応元年(1865)の建築ですが、内部の輪蔵は明治13年(1880)に造られています。鐘楼は天保元年(1830)の建築ですが、嘉永2年(1849)に補修されています。山門は文政9年(1826)の建築です。

光林寺の参道にはかつて立派な松並木があり、長野市の天然記念物に指定されていましたが、マツクイムシの被害を受けてほとんどが伐採されてしまいました。

ナガヲ峠

「光林寺」の脇に「ナガヲ峠」と書いてあります。この「ナガヲ」は中尾ではないでしょうか。

中尾山温泉は昭和8年(1933)に開かれたといえます。ここは千曲川の支流岡田川の造った谷間で、かつてはこの谷をさかのぼって篠ノ井山布施に通じる峠道がありました。これが「ナガヲ峠」でしょう。

茶臼山

永禄4年(1561)の川中島合戦の時、妻女山に陣を置いた上杉謙信に対して、武田信玄はいったん「茶臼山」に陣を取って様子を見、その後海津城に入って上杉謙信と対陣したといわれます。「茶臼



光林寺の山門（登録有形文化財）

山」の脇に「信玄城」と書いてあるのは、そのためでしょう。

茶臼山は、もともと北峰(標高730m)と南峰(約720m)の2峰がありました。茶臼山という名称もその形状から来ているのでしょうか。

南峰は江戸時代から地すべりを起こしていましたが、明治・大正・昭和と時代に地すべりが拡大してきました。地下水の水抜きなどの対策が功を奏して、地すべりが安定したのは昭和50年(1975)ころからです。長野市は地すべり地を利用して、昭和52年に自然植物園を、昭和55年に恐竜公園を、昭和58年に動物園をそれぞれ開園しました。

玄峯院

その茶臼山のふもとに「玄法院」がありますが、これは「玄峯院」の誤りです。元は臨済宗で、天正3年(1575)に曹洞宗に改めて現在に至っているということです。

「玄法院」の下に、「石川」「二ツ柳」「五明」と、村の名が書いてあります。その「石川」にあるのが、「将軍塚」(川柳将軍塚古墳)です。

4月号は「善光寺」の予定です。

◆生活の「悩みや不安」

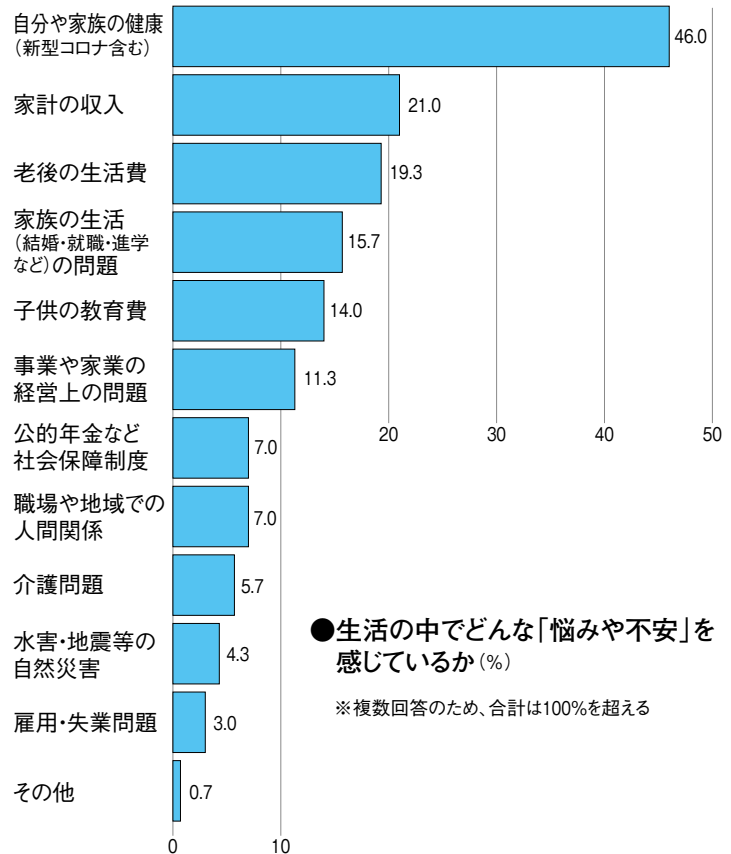
「自分や家族の健康(コロナを含む)」46% 「家計の収入」21% 「老後の生活費」19%
「家族の生活の問題」16% 「子供の教育費」14%

「生活の中で悩みや不安を感じている」と答えた71%の人に、その中身を聞いたところ、半数近い人が「自分や家族の健康(新型コロナ含む)」と答え、次いで「家計の収入」が2割強、「老後の生活費」が2割弱となりました。

男女別では、微妙な差ですが、男性の2位「家計の収入」、3位「老後の生活費」に対して、女性は2位「子供の教育費」、3位「家計の収入」となっています。

世代別では、10～20代は、2位「家計の収入」、3位「職場や地域での人間関係」、30～40代は、2位「家計の収入」、3位「子供の教育費」、50代以上は、2位「老後の生活費」、3位「事業や家業の経営上の問題」となっています。

〈当金庫・2021年12月調査〉



●みなさまの税務相談のご案内[4月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
4月 6日 水	若槻支店 (城北支店)	東長野支店 (柳原支店)	4月 19日 火	権堂支店 (善光寺下支店)	川中島支店 (川中島駅前支店)
7日 木	豊野支店	須坂支店 (墨坂支店・太子町支店)	21日 木	中野支店 (小布施支店)	山ノ内支店 (飯山支店)
12日 火	長池支店 (大豆島支店)		22日 金	大門町支店 (桜枝町支店)	飯綱支店
13日 水	稲荷山支店 (屋代支店)	上山田支店 (戸倉支店・坂城支店)	26日 火	本店営業部	古里支店 (吉田支店)
14日 木	石堂支店 (伊勢宮支店)	七瀬支店 (南支店)	27日 水	本部	
18日 月	篠ノ井支店 (川柳支店)	松代支店 (更北支店)	28日 木	本部	



長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町 133-1 TEL 026-228-0221(代)

長野信用金庫 URL <http://www.nagano-shinkin.jp/>

